

2025年度

前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校				
教 科	科 目	単位数	標準単位数	学習期間	担当者
家庭	家庭基礎	2	2	半期	本校教員・スクーリング講師
教科書名		出版社	学習書		
家庭基礎 気づく力 築く未来		実教出版	本校作成学習書		
指導目標					
自分の今と将来を見つめ、目まぐるしく変化する社会の中で個人の価値を尊重し、自己の能力を伸ばし、人生を切り拓く力を養う。 また様々な人と協働し、家庭や地域の中で主体的に課題を発見し、解決する「資質・能力」を育成する。					
レポート(添削指導)	全 4 回	定期試験	あり	年間・学期	1 回
スクーリング	全実施時間数 8 時間	定期試験の評価割合	70 %		
	標準面接時数 4 時間	評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1		

回数	日付	スクーリング 単元・学習内容	レポート 提出期限	回数	高校通信教育講座(コンテンツ視聴) 単元・学習内容
1		「これからの人生について考えてみよう」「自分らしい生き方と家族」 ・様々な作品の登場人物の生き方や家族のかたちから、結婚や家事労働、男性の育休取得などの個人・家庭・社会の課題に気づき、自身の望む生き方や他者との関わり方を見つめ直しながら解決策について考える。	第1回 5/26	1	これからの人生について考えよう
				2	自分らしい生き方と家族
2		「子どもとのかかわる」 ・乳幼児期に発生する事故の原因を、チャイルドビジョン・チャイルドマウスを使用して身体的特徴から理解し、事故の対策と乳幼児との関わり方を考える。		第2回 6/9	3
			4		高齢者とのかかわる
3		「高齢者とのかかわる」 ・高齢者の疑似体験を通して、必要な支援やコミュニケーションの配慮、高齢者が不便と感じる場面を考え、どのようにすれば高齢者が暮らしやすい社会になるか検討する。	第3回 6/23	5	社会とのかかわる
				6	食生活をつくる
4		「社会とのかかわる」 ・社会保障制度のしくみと、自身の生活・人生との関わりを理解し、各国の社会保障の負担率とサービスの在り方を比較して、どのような制度体制が望ましいか考える。	第4回 7/7	7	衣生活をつくる
				8	住生活をつくる
5		「食生活をつくる」 ・ある1日の食事の事例を、食事摂取基準と食品群別摂取量のめやすをもとに、栄養バランスや自身が想定する「豊かな食生活」の観点で評価し、改善点を提案する。		9	消費活動を考える
				10	経済的に自立する
6		「衣生活をつくる」 ・衣服を触り素材を確かめながら様々な繊維の特徴や共通点を理解し、しわになりにくい衣服の選択や衣服を縮ませないための洗濯など自身の生活を豊かにするための衣服計画・管理を考える。			
7		「住生活をつくる」 ・安全な住まいをつくるために、防災の視点での家具配置や、住んでいる人の人数や性別・年齢をふまえた備蓄品の確認をし、自身の住まいの改善点を提案する。			
8		「消費活動を考える」 ・理想の一人暮らしについてシミュレーションをして、給与明細に見られる「各種手当」「社会保険料」「税金」などを確認しながら、収入と支出のバランスを考えた適切な家計管理を考える。			

《留意事項》

- ・スクーリングには教科書または学習書を必ず持参すること。
- ・実験器具、ICT機器、映像資料等を用いてより効率的に学習を進める。